

# 公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 稲葉カヨ

### 2 所在地

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番地 京都市男女共同参画センター内

### 3 電話番号

075-212-7490

### 4 ホームページアドレス

<http://www.wings-kyoto.jp/> (京都市男女共同参画センター)

### 5 設立年月日

平成5年5月24日

### 6 基本財産

50,000千円 (うち本市出えん額 10,000千円, 出えん率 20.0%)

### 7 事業目的

男女の自立と社会のあらゆる分野の活動への対等な参画を促進するため、市民の主体的な活動を喚起しながら必要な事業を展開し、男女が個人として尊重され、その能力が發揮できる、男女共同参画の理念の息づく都市、京都の実現に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供
- (2) 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究
- (3) 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援
- (4) 男女共同参画に関する相談
- (5) 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
- (6) 男女共同参画に関する施設の管理運営
- (7) その他前項の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局共生社会推進室男女共同参画推進担当 (TEL075-222-3091)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

稻葉カヨ

#### (2) 専務理事

有原克典

#### (3) 理事

今井まゆり、加藤千恵、川口直也、小山哲史、佐野恭子、清水智子、手嶋昭子、福田真子、山舩恵子、太田昌志（京都市文化市民局共生社会推進室男女共同参画推進課長）

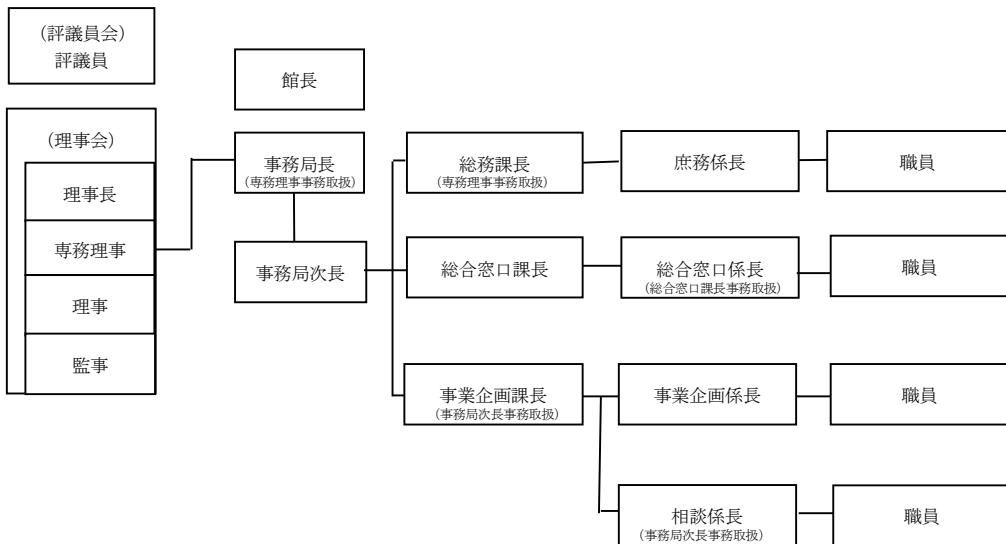
#### (4) 監事

寺西章郎、前岡照紀、山村敏雄（京都市文化市民局共生社会推進室長）

### 11 常勤職員数

9人 (うち本市派遣職員0人)

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 令和元年度決算

#### (1) 事業報告

- ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供
  - (ア) 図書資料の収集と提供
  - (イ) 情報発信事業
    - a インターネットでの情報発信（ホームページ、メールマガジン、Twitter、Facebook等）
    - b 啓発誌・講座案内の発行
- イ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援
  - (ア) 啓発支援及び学習支援
    - a みんなで考える男女共同参画講座
    - b はじめてパパの育児講座
    - c 働くママを応援！育休ママの「安心」情報交換会
    - d DV 予防講座
    - e 未来のリケジョを応援！科学をもっと好きになる！
  - (イ) 企業・大学・地域との連携事業
    - a 性暴力被害者支援事業「DV・性暴力という人権侵害について考える」
    - b 女子大学生と考える女性活躍事業「自分らしく働くための選択とは？」
    - c 対談「フェアメンになろう！～新しい男性のあり方を模索する～」
    - d 開館25周年記念事業 WIT分科会・越智貴雄写真展「切断ヴィーナス」
  - (ウ) 教養・健康増進事業
    - 運動実技講座・うた講座・その他教養講座
  - (エ) 保育事業
    - 事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場
- ウ 男女共同参画に関する相談
  - (ア) 相談業務
    - 女性のための相談・男性のための相談
  - (イ) 相談事業
    - a DV 被害当事者のための自立支援事業
    - b 大学相談室派遣事業
  - (ウ) 関係機関連携／苦情・要望等処理制度の受付

エ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進

(ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業

- a 京都市男女共同参画市民会議（ウイングス・フォーラム）
- b センター利用者や地域との協働事業
- c パープルリボンの取り組み他
- d 中京区民ふれあい人権映画鑑賞会

(イ) 人材・団体育成事業

- a 市民活動サポート事業
- b 女性の防災リーダー育成事業
- c 共催・後援事業／講座受講生のグループ育成

(ウ) 目的利用団体に対する施設管理業務

オ 目的利用団体以外に対する施設管理業務

カ 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営

## (2) 財務諸表

貸 借 対 照 表  
令和2年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	104,113	128,059	△23,946
未収入金	27,942	394	27,548
前払金	281	146	136
立替金	1,919	422	1,497
流動資産合計	[134,256]	[129,021]	[5,235]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	20,000	20,000	0
投資有価証券	30,000	30,000	0
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	54,622	54,622	0
特定費用準備資金	4,359	10,973	△6,615
特定資産取得資金	0	7,953	△7,953
特定資産合計	(58,981)	(73,549)	(△14,568)
(その他固定資産)			
建物附属設備	4,254	1,661	2,593
什器備品	4,635	624	4,011
ソフトウェア	5,728	4,567	1,161
電話加入権	1,580	1,580	0
出資金	10	10	0
保証金	5	5	0
その他固定資産合計	(16,212)	(8,448)	(7,765)
固定資産合計	[125,194]	[131,996]	[△6,803]
資産合計	259,450	261,018	△1,568
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	28,876	27,529	1,346
預り金	483	1,292	△810
前受金	9,788	11,747	△1,959
賞与引当金	4,528	4,660	△131
流動負債合計	[43,675]	[45,229]	[△1,554]
2. 固定負債			
退職給付引当金	67,721	65,833	1,887
固定負債合計	[67,721]	[65,833]	[1,887]
負債合計	111,396	111,062	333
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[50,000]	[50,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(50,000)	(50,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[98,054]	[99,955]	△1,901
(うち特定資産への充当額)	(4,359)	(14,282)	(△9,924)
正味財産合計	148,054	149,955	△1,901
負債及び正味財産合計	259,450	261,018	△1,568

正味財産増減計算書  
平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	174	249	△76
事業収益	207, 648	217, 955	△10, 307
受取寄付金	20	25	△5
雑収益	1, 917	2, 254	△337
経常収益計	209, 758	220, 484	△10, 725
(2) 経常費用			
事業費	204, 560	207, 467	△2, 907
管理費	5, 490	5, 278	212
経常費用計	210, 050	212, 745	△2, 695
当期経常増減額	△291	7, 739	△8, 030
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税等	1, 610	2, 955	△1, 345
当期一般正味財産増減額	△1, 901	4, 783	△6, 685
一般正味財産期首残高	99, 955	95, 172	4, 783
一般正味財産期末残高	98, 054	99, 955	△1, 901
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50, 000	50, 000	0
指定正味財産期末残高	50, 000	50, 000	0
III. 正味財産期末残高	148, 054	149, 955	△1, 901

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H29（決算）	H30（決算）	R1（決算）
正味財産増減計算書	経常収益	220,083	220,484	209,758
	当期経常増減額	9,952	7,739	△291
	当期正味財産増減額	8,070	4,783	△1,901
貸借対照表	総資産	246,260	261,018	259,450
	総負債	101,088	111,062	111,396
	正味財産	145,172	149,955	148,054

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H29（決算）	H30（決算）	R1（決算）
委託料	男女共同参画センターの管理運営（指定管理）（※）	180,000	180,713	106,720
	男性のためのDV電話相談及びDV予防講座事業	960	960	
	DV被害者支援インストラクター及びサポーター活用事業	100		
	「京で輝く！女性活躍推進プロジェクト」	2,000		
	市民を対象とした図書譲渡会	222		
	写真展 PROJECT STAND 性暴力サバイバー達の素顔	378		
	男女共同参画センター開館25周年事業業務委託			760

(※) 令和元年度より利用料金制

## 第3 経営評価結果

## 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度においては、新型コロナウイルスの影響により赤字決算となったものの、経費の節減に努めたことは評価できる。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書情報室を拠点とした情報提供や啓発事業の実施、市民活動の支援等、安定した事業の実施に加え、京都市男女共同参画センター開館25周年記念事業として、男女共同参画の重要性を学ぶことを目的とした、WIT(WORK AND WOMEN IN INNOVATION SUMMIT) 分科会や写真展「切断ヴィーナス」を実施できたことは評価できる。</li> </ul>

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>当期経常増減額が平成27年度決算以来の赤字となった。</li> <li>黒字回復に向け、更なる効率的な経営に努めてほしい。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画の更なる推進に向け、引き続き、関係団体等との連携・協働による新たな共催事業の実施や、若年層との協働事業の実施等に精力的に取り組んでいただきたい。</li> </ul>